

栄養職員とコラボした『食』の図書展示コーナー

実施日 令和6年7月、8月

対象 小学1年～6年

単元名 食育(フランスの食文化等)

目的・ねらい

- 栄養職員と学校司書の協働により、児童がより幅広い観点を持つ読書活動を行う。
- パリオリンピック・パラリンピックのフランス開催にちなみ、オリンピック・パラリンピック関連等の本とともに、フランスの『食』や文化の本も展示して、フランスについて広角的に理解を深める。

学校図書館活用のポイント

- 『食』や行事に関する掲示物や本の展示コーナーを設置して関心をうながし、それらの展示本を貸出する。
- 食に関する掲示物は栄養職員が作成し、栄養職員と学校司書がそれぞれの特性を活かしてコラボする。

必要なもの

- ☐ 掲示物、展示する本等。

当日までに行うこと

- ☐ 展示コーナーを設置し、掲示物等を作成する。
- ☐ 栄養職員等との打ち合わせをする。

実践内容	物品	留意点
〈提案〉5月 栄養職員から「7・8月はパリオリンピック・パラリンピック開催にちなみ、学校図書館の図書展示コーナーに『フランスの食』に関する掲示・展示をしたい。」と学校司書に提案があった。		
〈相談〉6月 学校司書は、図書主任や関係者に展示物・掲示物等の相談をした。		
〈準備〉7月初旬 ● 学校司書が展示する本を選んだ。 ● 栄養職員はフランスの食べものに関する掲示物を作成し、学校司書も図書展示コーナーの掲示物等を作成した。	展示する本(別紙 図書リスト参照) フランスの菓子箱	
〈実践〉7～8月 フランスの食等に関する本の展示コーナーを設置して、それらの本を貸出した。		

	・栄養職員は「マカロン」「フランスパン」「ラタトゥイユ」などのフランスの食べものの掲示物を作成した。 ・学校司書はフランスの食に関する本や、フランスに関する本・フランスの菓子箱等を展示した。フランスの掲示物を作成・掲示した。	
〈結果／児童生徒・教職員の反応〉 ● オリンピック・パラリンピックに高い関心を持っている児童も、フランスの食の掲示物や本を見ることにより『食』に関する新しい気付きにつながり、関心の幅が広がった。 ● 教職員も強い関心を持って見ていた。 ● 栄養職員と協働することにより、各々の相互作用が響きあい、よりよい読書活動につながった。		

【備考】

- 栄養職員は学校司書に「『本・読書は大事！』です。食に関することの図書展示コーナー等を一緒にコラボしましょう。」と、よく声をかけてくる。
- 6月の食育月間は、3年連続して栄養職員・栄養教諭とコラボした展示・図書コーナーを作った。（※下欄に記載）

※『食』に関する給食委員会のおすすめの本を展示

- ・6月の食育月間に、給食委員会のおすすめの『食』に関する本を展示・貸出し、本による食育活動につなげた。
- ・給食委員会が、『食』に関するおすすめの本を選び、シートに記入した。
- ・学校司書がそのコーナーを設置した。



最初は、本を展示しているのみだったが、児童から「本を借りたい！」という要望があり貸出すると、展示本すべてが貸出中の状態が食育月間の間は続いた。（返却された本は、即また貸出となった。）